

教育文化部会 会議録

（出席者） 委 員：10 名
事 務 局：4 名（戦略部会員：3 名、政策推進課：1 名）
ア ド バ イ ザ ー：1 名
ファシリテーター：1 名

（会議の内容）

1. はじめに

資料 1 に基づき、第 3 回まちづくり市民会議（第 2 回部会）の会議録について内容を確認し、公表に当たっての承認を得ました。

2. 今後の会議の進め方と計画書への意見反映について

資料 2 に基づき、第 4 回まちづくり市民会議以降の検討の進め方について事務局から説明しました。

3. グループワーク

「教育文化分野の課題」をテーマに、2 グループに分かれて K J 法によるグループワークを行いました。

■メンバー

	グループ 1	グループ 2
委員	彦坂委員、横田委員、小澤委員、金子委員、宮内委員	廣中委員、鈴木委員、山田委員、片山委員 高木委員、加島アドバイザー
事務局	河邊、行田、江口	土井、小塚

4. アドバイザー総括（加島アドバイザー）

たくさんの意見が出て、参加していて楽しかった。全体をみて、非常に広範囲の話題が出た。不安や懸念だけでなく、人材などの、今田原にあるものを使って未来につなげていくという、あるものを使った知恵などの考えが出てきたのは良いことである。教育文化部会というのはそうやって将来性のある話ができる明るい部会であることが再確認できた。もっと積極的に、建設的な意見がどんどん出ていけばもっと良い会になると思う。今後に期待したい。

5. その他

次回開催日程は、5 月 14 日（月）18：30 からに決定しました。各委員に、ふり返しシートを配布し、会議後 1 週間を期限に、提出をお願いしました。

1 グループ

みんな仲良く

地域の人々と子どもたちのつながりが薄いのでは

交流に地域差がある
(既存、新規)

スポーツを身近に

スポーツ実施者を増加させる

スポーツ人口に偏りがある

スポーツ施設
トレーニングルームなどが少ない

スポーツの指導者が不足している

子どもたちが心配

給食の安全性
(地産地消)

ネット社会と
学校教育

子どもの通学の安全見守り
隊(取り組みに地域間で差がある)

外で遊ぶ子どもが減っている

子どもたちの不登校が増えている

どこでも図書館

移動図書館を幅広く活用するための有効利用を図ることが大切(学校だけでなく移動手段がない人のための小回りの利いた図書サービス)

地域をキーにした図書館利用ができれば

ずっとつながる

自分の住んでいる町の歴史を知らない人が多い

伝統を守った
り、保護すること
とが手薄である

ふるさと田原に愛着をもち良さを次世代に
継承できる人づくりが必要(ふるさとの歴史・文化を学び知るための文化財の発掘、
保護、施設の充実が大切)

仲間を増やそう

文化・スポーツ
グループの会
員数減

意欲の衰退
新たに人が入
らない

文化協会の活
動に広がりがない

マンネリ化し
ている(文化協
会)

音楽活動を気
軽に行える場
所を!

文化の人口が
少ない

文化協会の会
員が高齢化

いろんな活動
の発表の場が
少ない

歴史を知ろう

博物館の観覧
者に地元の人
が少ない

文化を育むよ
うな取り組み
が活発でない

文化を守るま
ちという姿勢
が薄い

博物館の入場
を増やす工夫
が足りない

あそび場が心配

児童館が少な
い(1か所だ
け)
※移動児童館
はあり

公園の遊具に
使用不能のも
のがあり危険

市内施設の利
用しやすさ

学校施設が老
朽化している

学校がなくなっちゃう

子どもの人数
が減り部活が
できない

小中学校内の
子どもの学力
差

専門的な教員
が不足する(学
校が小規模)

学校の複式学
級が不安

学校教育の充実のために規模の適正化を図ることが大切
知識の習得だけでなく社会性、人間性を育てることが大切

ドーナツ化に
よる都市部の
少子化(中部)

もっと勉強

他市町村の取
り組みを学ぶ
ことも大切

施設を使いやすくしよう

中央図書館の活用
ぐるりんバス
全通

文化施設のPR

スポーツ施設の充実
→若者を集める

スポーツ活動の推進
大会のPR

児童館の施設の充実

世代をこえたふれあい

子ども遊びを教える

子ども（児童）とお年寄りの交流

まちコン推進
ふれあい
大人と大人
大人と子ども

青少年の異年齢の他人との交流
(友人でもない、親、教師でもない)

子ども会
ジュニアリーダーの充実

中高生のボランティア参加

地域の星を探せ

地域の人材の発掘の機会

スポーツ少年団の活躍を図る
指導員の養成

地域の人材の活用

高齢の方やリタイアした方の知識・経験の活用

じもピーにきけ

郷土学習の充実

文化の継承の推進
→地元のアピールにつなげる

郷土資料を授業であつかう

学校教育の充実

防災教育
防災教育の推進（できるだけすみやかに）
保育園の避難訓練
地域に助けをもらおう…と言えないながら連携ができていない？

不登校
不登校の学生の増加、対応、対策
交通安全教育
ワースト返上
不登校児童・生徒の対策
給食メニューが質素

教師の資質向上
教師の不祥事
学校の先生の間、エリアに差があり子どもにも差がつく
少人数、加配
学校規模の適正化（特に小学校）

地元の知識を増やそう ふれあおう

地元の農業を知る機会をつくる

農業、漁業、畜産業を知る

農業大学はどうなった？

身近にある畜産、漁業施設の見学機会をつくる

農漁業、畜産業
→生命を教えるような教育

子どもを守れ

パトロールの充実
→危険の排除

たばこ全廃
→健康・脱非行

先生との役割分担をわけたアフタースクール

塾代わりの場所

授業時間と内容のバランス
生活授業が基本科目か

参加者を増やそう

福祉専門学校の活用

市民大学の推進PR

高齢社会
→生涯学習活動の推進